

国際ロータリー第 2550 地区
益子ロータリークラブ



益子ロータリー会報

No. 2125 例会



2024. 6. 19(水) Vol. 45

月間テーマ《ロータリー親睦活動月間》
2023～24 年度 広木規男会長テーマ
『温故知新』



RI 会長 ゴードン R. マッキナリー
第 2550 地区ガバナー 三井福次郎

司会

直井 睦 SAA

ロータリーソング

♪我等の生業♪

会長あいさつ

広木規男会長

広木年度、最後のあいさつは「ロータリー」という名称の誕生秘話についてお話しします。

みなさんご存知のように「ロータリー」とは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたと言われてはいますが、実はポール・ハリスが最初に考えたのは、違う名称でした。

それは、1905 年、4 人での最初の会合から 1 ヶ月経った、3 月 23 日、出席者 15 名の 3 回目の会合での出来事でした。会員たちから色々な名称が提案されました。

- ① シカゴの風の街を意味する
(ウィンディ・シティ・ラウンドアップ)
- ② ミシガン湖を思わせる
(ザ・レイク・クラブ)
- ③ 仲間や協力を強調する
(ザ・シカゴ・フェロシップ)
- ④ 相互援助を意味する
(ブースター・クラブ)

など、いずれもその意図は明確でしたが、決定力に欠けていました。議論が膠着する中、ポール・ハリスは静かに「ローテーション・クラブ」を提案しました。この時、既に会合は会員の事務所を持ち回りにし、会場提供者が司会をやっており、3 回目のローテーションに当たっていました。しかし、15 名の会員から同意が得られませんでした。

暫くしてポール・ハリスは、この「ローテーション」を更に「ロータリー」と言い換え「ロータリークラブ」はどうかとワンプッシュしました。結果、満場一致でポール・ハリスの提案が可決されました。

お礼のあいさつ

藤原郁三ガバナー補佐

36 年間のロータリー人生の中で、一番忙しい年でありました。と同時に一番辛い年でした。先ず、ガバナー公式訪問の前に、第 4 グループ各クラブのクラブ協議会の開催をして、各クラブへのガバナー公式訪問。ポリオデーの取り組み。RI 会長代理歓迎晩餐会、そして地区大会。栃木県知事を囲んでの合同例会、第 4 グループ I・M。地区での勉強会やガバナー補佐会議など色々在りました。他にも、グループの会長・幹事会を 2 ヶ月に一度開催し、その内の 2 回は泊りがけで行いました。また、今月 14 日には、最後のガバナー補佐会議が泊りがけで行われ、補佐としての仕事を全て終わりました。

病気を抱えてのスタートでしたので、無事終わる事ができてホッとしています。特に、事務局長を引き受けてくれた、小幡会員のお陰で全ての行事が、段取り良く進めることができました。また、I・M では、広木会長のお陰で、元 RI 会長の田中作次氏を招いての講演が開催できたことは、大変幸運な事だと思います。クラブの皆様に、心より深く感謝申し上げます。

会 長 : 広木 規男
副 会 長 : 佐藤 広志
幹 事 : 猪口 又雄
会報委員長 : 塚本 和也
会 報 委 員 : 柳 廣明
 : 佐藤 浩

事務局 : 栃木県芳賀郡益子町益子 1593
TEL・FAX 0285-72-7474
E-mail : masikorc@gaea.ocn.ne.jp
例会場 : 益子町上大羽 2268 益子カントリー倶楽部 2 階
TEL 0285-72-1234 FAX 0285-72-1231
例会日 : 水曜日 12:30～13:30

次に、「U字工事お笑いチャリティーライブ」ですが、結果的には、寄付金も多く集まり、ロータリーが協力した甲斐がありました。これは、「益子を元気にする会」会長の塚本和也さんが、チケットを沢山売ってくれた功績が成したことだと思います。同時に、皆様のご協力の賜物と思っております。「楽しくなければロータリーではない」ので、人間関係でわだかまりがおきてしまうことは、それに反することになるので、そうならない為には、会員同士がロータリーという共通の理念の下に、互いに信頼し、尊重し合う事が大切です。相手の立場を考慮することが、多様性を求めるロータリアンにとって何より大切なことです。

みなさんも、ロータリーの友情とは何か、もう一度考えてみてください。これを機に益子ロータリークラブが一層発展することを願っています。一年間、本当にお世話になり有難うございました。

卓 話

広木規男会長

「感謝」

この一年間、会員の皆様方の温かい友情に支えられ、多くのご協力を頂きながら、何とか今日の日を、猪口幹事とともに迎えることができました。改めて、皆様からのご指導、ご鞭撻に深く感謝申し上げます。特に、関口親睦委員長や萩原プログラム委員長、そして直井SAAには、何かとご苦勞をかけてしまい、本当にお世話になりました。

更に、例会場を提供して頂いたアプローズ益子さん、この一年間ありがとうございました。

振り返れば、一年前、RI会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」そして三井ガバナーからは「ロータリーの基本はクラブです」を提唱されました。私は、益子クラブが生まれて45年目の今年は「昔を知り、今を語り、未来を描く」事ができればという思いから、会長テーマを「温故知新」にしました。

コロナが5類に分類されて迎えた広木年度は「楽しくなければロータリーではない」をモットーに奉仕活動と親睦活動を車の車輪として、和やかな楽しいクラブ作りを目指してきました。しかし、

ご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫び申し上げます。それでは、私が作成した「広木年度は、益子RC創立45年の節目の年でした」を見ながら一年間を振り返りたいと思います。

7月5日、新年度祝賀会

7月26日、早くも三井ガバナー公式訪問でした。

8月30日、納涼家族会。4年ぶりに家族を招待して盛大にできました。

9月19日、田中作次元RI会長(八潮RC)の卓話を実現しました。これは、私が運よく田中さんと懇意にしていた、朝霞RCの大畑さんと友達付き合いをしていたので実現しました。

9月24日、河原会員のご協力で、子供達を招いて稲刈りを体験する事ができました。これは、地区補助金活用事業で、3町に計1800kgの新米を寄贈しました。

10月11日、秋の収穫祭。「とちぎの星」のおにぎりとお船渡の秋刀魚の塩焼き。そして堀中信哉さんの入会式も行いました。

10月22日、RC杯少年サッカー大会。同時に24日の世界ポリオデーに合わせてポリオ根絶募金活動を行いました

11月12日、地区大会(佐野市)があり、大会テーマは「栃木は一つ」記念講演は、「ダ・カーポ」のコンサートでした。

11月29日、福田富一栃木県知事をお迎えしての、第4グループ合同例会。栃木県誕生150年についての卓話。

12月20日、クリスマス家族会。アトラクションは、関口会員ご子息のジャズの生演奏が素晴らしかったです。

1月10日、宮下潤さんの入会式。

2月7日、三村久美子さんの入会式。皆様のご尽力で、この時点で3名の仲間が増えました。

2月25日、第4グループ インターシティ・ミーティングが開催され、成功裏に終わりました。

記念講演は、田中作次元 RI 会長の「世界のロータリー」でした。創立 45 年という節目の年に、田中作次元 RI 会長に 2 度も益子の地にお出で頂き、忘れられない年になりました。

3 月 9 日、益子 RC が後援した U 字工事のお笑いチャリティーライブショーが、益子町民会館であり、沢山の来場者に、沢山の笑いを届けることができました。その収益金は、能登支援にも届けました。

3 月 13 日、市貝町クリーン作戦。サシバ道の駅周辺のゴミ拾いを実施しました。

4 月 7 日～8 日、親睦旅行。能登支援を兼ねて福井方面に行きました。新幹線を利用した親睦旅行は、暫くぶりでした。

4 月 17 日、益子町クリーン作戦。益子駅周辺の特に、40 周年記念モニュメントの清掃を中心に実施しました。

4 月 20 日、真岡西 RC 創立 40 周年記念式典。フォーシーズン静風で開催され、アトラクションは「中森あきない」のものまねでした。

4 月 23 日、第 4 グループ合同ゴルフコンペを芳賀カントリークラブで開催。

5 月 15 日、茂木町クリーン作戦。例年通り、城山公園の草刈を実施しました。

6 月 12 日、第 35 回陶芸教室。益子 RC の柱とも言えるべき「陶芸教室」が、今年も無事に開催でき、たいへん嬉しく思います。

以上、今年も地域への奉仕活動を 4 つと、友情を育む親睦活動を 4 つ実現できました。皆さん、たいへん有難うございました。

地域への奉仕活動

- ①サッカー大会 (10/22) ②新米寄贈 (9/27)
- ③クリーン作戦 (3/13・4/17・5/15)
- ④陶芸教室 (6/12)

友情を育む親睦活動

- ①納涼家族会 (8/30) ②秋の収穫祭 (10/11)
- ③4 クラブ合同例会(11/29)④親睦旅行(4/7～8)

最後に、ご無理を言って幹事をお引き受け頂きました猪口さん、本当にお疲れ様でした。

ありがとうございました。

そして、毎週の例会にお骨折りを頂いた、事務局の塚本さんに、限りない感謝の言葉を贈ります。いずれにしてもこれからのロータリーは、今迄以上に、時代の流れと共に変わっていくものと思います。次年度は、再登板の佐藤会長ですので豊田幹事と共に、素晴らしいロータリー活動が出来るものと確信しています。

ロータリーの友紹介

長尾俊介委員長

6 月号

*横組み 7 頁「広げよう！ロータリー親睦活動の輪」若者のロックを通しての親睦活動や色々なジャンルを活かしての親睦活動の記事です。これを参考に、様々な親睦活動を広げてみてはいかがでしょうか。

一年間、大変お世話になり有難うございました。

まだまだある！ロータリー親睦活動グループ (2024年5月時点)

アマチュア無線
アンティーク自動車
占星術
執筆
バトミントン
バスハウス
顎ひげと口ひげ
ミツパチ
ビール
バードウォッチング
ボウリング
キャンピング
キャラバン式旅行
チェス
コーヒー愛好家
コメディ
コンボステイキング
コンピューター
企業の社会的責任(CSR)
クリケット
文化遺産
カーリング
サイバーセキュリティ
サイクリング
人形愛好家
チェッカー
医療関係者
Eクラブ
編集者・出版者

教育者
エジプト学
女性のエンパワメント
起業家
エスペラント語
倫理
ファッション
美術
釣り
飛行
フランス語圏
系図学者
寄付と遺贈計画
シン
世界開発
囲碁
ゴルフ
グルメ料理
グラフィックデザイナー
保健専門家
ハイキング
ホームエクスチェンジ
競馬
乗馬
ハンティング
インターネット
イタリヤ文化
IT 専門家
凧

ラテン文化
弁護士
リーダーシップ
LGBT+
手品
マグナグラシア
マラソン
メンタルヘルス・カウンセラー
ヘビーマタル愛好家
メタバース
退役軍人
バイク
音楽
希少古本
ハームワイン
バストガバナ
元会長・役員・支援者
平和フェロー
舞台芸術
写真
ビックルホール
公共保健
パブリックスピーカー
キルト・織物手芸
鉄道
不動産
キャンピングカー
ロータリー史
ビジネス

ロータリーのピン
ロータリーの切手
ボート(ローイング)
ラグビーファン
スカウティング
スクーパダイビング
スカウト
シューティングスポーツ
スキー
スタートアップ投資家-RING
戦略計画
サーフィン
卓球
紅茶愛好家
テニス
総合質管理
旅行・ホストとしてのおもてなし
トリアスロン
都市ガーデニング
ウィーガン
ウィンテージ収集
気象愛好家
ウイスキー
野生生物の保全
ワイン
ヨット
ヨガ
若いロータリアン

ニコニコ BOX

豊田有子委員長

- 広木君 一年間、会員の皆さん大変ありがとうございました。(過分に頂戴しました)
- 藤原君 一年間、皆さんには大変お世話になりました。
- 長尾君 ロータリーの友の紹介、最後です。ありがとうございました。
- 直井康浩君 広木会長、藤原ガバナー補佐、一年間お疲れ様でした。
- 直井睦君 広木会長、一年間お疲れ様でした。卓話ありがとうございました。
- 牟田君 2023～2024年度、広木会長・猪口幹事一年間お疲れ様でした。藤原ガバナー補佐、小幡事務局グループのためありがとう。
- 堀中君 みなさま、一年間お疲れ様でした。
- 三村さん 一年間、広木会長・藤原ガバナー補佐お疲れ様でした。
- 小幡君 広木会長、お疲れ様でした。藤原ガバナー補佐、大変勉強になりました。
- 高根澤君 広木会長、一年間大変お疲れ様でした。

- 関口君 広木年度、一年間大変お疲れ様でした。藤原ガバナー補佐、小幡事務局長ありがとうございました。
- 萩原君 アプローチ益子を、長い間ありがとうございました。
- 河原君 藤原ガバナー補佐、ご苦労さまでした。広木会長、猪口幹事、大変ご苦労さまでした。アプローチ益子スタッフの皆様、お世話になりました。ありがとうございました。
- 佐藤広志君 広木会長、一年間ありがとうございました。藤原ガバナー補佐、一年間お疲れ様でした。アプローチ益子様ありがとうございました。
- 塚本君 広木会長ご苦労さまでした。
- 日下田君 藤原さん、広木さん、一年間ご苦労さまでした。
- 平野君 広木会長、ごくろうさまでした。
- 富田君 広木会長、ごくろうさまでした。
- <広木年度、みなさんお世話になりました>
<藤原 G 補佐・小幡事務局長お疲れ様でした>
伊藤君 佐藤浩君 豊田さん 宮下君 柳君

三井福次郎直前ガバナーへの謝辞

ガバナー月信より



三井直前ガバナー様

先ずもって、心より三井ガバナーに心より感謝、御礼申し上げます。

三井ガバナーには、事あるごとにいろいろとガバナーとしてまたロータリアンとしての心構え、振る舞い、考え方をご指導いただきました。

三井年度、新型コロナウイルス感染症が第五類に移行され、コロナ禍前のロータリー活動に戻そうという雰囲気、意見がある中で、三井ガバナーは、「はて？」とお考えになり、コロナ禍前というものではなく、もっと大きな視点、立場より、1905年から100年のロータリー哲学と、その後の新たな100年のロータリー哲学を見据えて、「どこが継続でどこが新しい革新的なのかを時代の変化を見据えて説明すること」がいかに大切なのかを説かれ、それこそがロータリーへの「希望」であると私たちを導いていただきました。これからのロータリーにとって一筋の光が差した思いでした。今後の各クラブでのロータリー活動においてこの光が真の光となるように、私も浅学非才ではありますが、三井ガバナーの意志を引き継いでガバナーとしての任務を全うしたいと思っております。

また、ガバナー月信でのガバナーメッセージはとても参考になりました。今何が問題なのか、何を語らなければならないのかを的確に判断し解りやすく説明していただきました。特に半年たつてからの再度の呼びかけとして、マツキナリーRI会長の「メンタルヘルスに」関してのメッセージと、改めて三井ガバナーの「言葉や口先だけでなく行動をもって、誠実にロータリーを楽しみましょう」という基本方針は、2550地区すべてのロータリアンに心響いたのではないのでしょうか。さらに、ロータリアンにとって難解な「職業奉仕」についても解りやすく説かれていただきました。ガバナー月信をいかにして会員の皆様に読んでいただくかの指標を頂きました。

三井ガバナーとの思い出はたくさんあり言葉では言い尽くせませんが、シンガポール世界大会における栃木ナイトでの三井ガバナーの楽しくて、喜び笑顔あふれ出ているお姿は忘れられません。ガバナーとしての任期もあと2か月を切り、各クラブ訪問も終え、ガバナーとしての激務もほとんど終わられていたこの時期、やれることは成し遂げたそんな思いがあつた笑顔を作らせたのかとある意味羨ましくなりました。私はこれから大変な激務が待っています。次年度カルガリー世界大会では三井ガバナーのように、満面の笑顔で栃木ナイトを迎えられるように頑張りますので、どうかこれからもよろしくご指導、ご鞭撻をお願い致します。

最後になりますが三井ガバナー、真のロータリアンとは何か、その意義を唱え続けられご尽力を頂きましたことに2550地区ロータリアンを代表しまして、心より御礼申し上げます。